

「人づくり元年」という言葉をよく耳にしますが。

人材育成は百年の計に基づいて行う必要があり、その意味で今年を元年として、新しい教育立県を目指して教育環境を整備してまいります。

学校教育では、中学、高校の英語教育に生きた英語を提供するため、米国、英国から招致してきた英語指導主事助手等を大幅に（昨年度三名を十三名へ）増員します。その他、好評を得ている中学生の集団宿泊教育訓練（中学一年生対象）は高校一年生も対象に加え、豊かな人間性育成の一助として充実させていきます。社会教育施設としては、収蔵能力百万冊の新図書館の建設が始まります。（六十年秋完成予定）これに熊本近代文学館を併設し、県にゆかりのある文芸資料を保存、展示する予定です。今年秋には豊野村に建設を進めてきた「少年自然の家」が「菊池少年自然の家」に続く二番目の施設として完成します。



県立図書館完成予想

私立学校については、高校授業料軽減補助や魅力ある私立学校づくりの調査を行います。また、時代の要請に応えるため県立女子大学に情報処理関連教育科目を新設します。



本県は全国より十年以上早く高齢化が進んでいるという事実です。

六十五歳以上の高齢者の県人口に占める割合はすでに二二・五％（全国平均九・八％）で、今後更に増加が見込まれます。経験豊かな高齢者が能力を社会に生かし、生きがいを持つ環境を作ることが必要です。高齢者の雇用促進を図るため、高齢者無料職業紹介所に高齢者能力活用推進員を二名置くとともに、高齢者能力活用奨励金を創設しました。これは満六十五歳以上の人を雇用する事業主に奨励金（一人当たり月額一万円期間一年）を給付するものです。また、各地域では老人クラブが名産、名物づくりなどを通じて積極的に社会参加されるよう県が補助する制度を設けました。

熊本県は九州の中央に位置しているので、交通面の利点を大いに生かして欲しいですね。

県発展には基幹的交通体系を整備することが重要です。まず、九州縦貫自動車道（八代一人吉間）ですが、昨年度、全線にわたる用地取得の目途がつきましたので、六十二年度開通を目指し、事業を推進します。

九州新幹線については、先に駅、ルート案が公表されたところであり、早期着工が実現されるよう努めます。熊本空港は国際化の進展や需要の増大を見込み、エプロン改良、用地造成、周辺環境整備を行います。国際定期便の振興に加え、チャーター便の増便に努力します。



九州縦貫自動車道(八代一人吉間)の工事現場

緑に囲まれた潤いある生活環境を目指しているのですが。

「緑の十か年計画」を今年秋までに取りまとめ、計画的な緑化を進めます。本年度は学校、公園、主要道路など県の公共施設に特色ある植樹を進めるとともに、計画的緑化を行う市町村に助成します。

緑化の祭典として、来年阿蘇町蔵原で開催される全国植樹祭に向けては、会場の整備を継続して進めていきます。六十一年に開催予定の全国



準備が進む全国植樹祭会場

都市緑化フェアについても、基本計画の策定と水前寺江津湖公園を中心とした会場予定地の整備を行います。特に都市の環境づくりでは、緑化とともに景観問題が生じていますが、本年度は手始めとして、配電線の埋設推進などの調査、研究に着手します。

昭和59年度 第1回 県民提案 募集



お知恵、拝借。あなたがプランナー。

県では、県民参加の行政を促進するとともに行政効果の向上を図るため、下記のとおり県民の創意による県政への建設的な提案を募集します。

募集内容

次のテーマに関する自由な提案。共同による提案でもよい。テーマ・個性ある地域づくりについて

「地域間競争の時代」と言われる今日、地域は、その風土や伝統を踏まえ、特性を生かした将来方向を定め、自ら知恵を尽くし、発展のために努力する時代になってきました。幸い、私たちの住む熊本には、それぞれの地域に全国あるいは世界に誇れるような優れた自然的、社会的、文化的資源が数多くあり、また、その可能性を持つものもたくさんあります。

各地域が、このような優れた資源を生かし、その持てる力を結集して、その活性化に積極的に取り組むならば、真に豊かな潤いのある地域社会を実現することができるのではないのでしょうか。特産物を活用した地域の発展、あるいは観光に結びつくような自然や伝統文化を生かした町づくりなど、個性ある地域づくりについてのアイデア・プランをお待ちします。

応募資格

熊本県内に居住する方で、次の職に該当しない方。
 (1) 国または普通地方公共団体の議会議員
 (2) 普通地方公共団体の首長
 (3) 熊本県職員(教育公務員及び警察官を除く)

応募方法

四百字づつ原稿用紙(枚数制限なし)に記入のうえ期日までに郵送または持参。(提案に際しては、原稿用紙五枚以上になる場合は、要旨を一枚にまとめて添付すること。)

募集期間

昭和五十九年五月一日から、昭和五十九年六月三十日まで(当日消印有効)

送り先

〒862 熊本市水前寺六丁目十八番一号 熊本県総務部広報外事課

ほう賞

入選 知事賞(二点) 賞状及び副賞(十万円)を贈呈
 入選 優秀賞(二点) 賞状及び副賞(五万円)を贈呈
 佳作には、賞状及び副賞(二万円)を贈呈

発表

入選の提案は、昭和五十九年八月末日までに入選者に通知するとともに、県公報その他で発表の予定

その他

(1) 提案は、未発表のものに限る。
 (2) 提案により生ずる著作権、著作権は県に帰属する。
 (3) 提出された作品は、返却しない。